

災害備蓄用トイレに 求めるものは、衛生面です。

企業として災害対策が必要。

株式会社長谷工コーポレーションは、首都圏、関西圏を中心に分譲マンションの建設に特化し、供給している企業です。

同社は分譲マンションにお住まいになるお客様が災害に遭遇した際に復旧へのサポートが必要と考えています。

「私共総務部は、復旧をお手伝いする部門をサポートする事が仕事の一部と認識しております。ですから、できる限りの災害対策が企業として必要と考えています。なかでも上下水道等ライフラインが止まった時のトイレは、大きな問題です」、同社総務部チーフ 池谷氏は語ります。

そこで、災害備蓄用として導入されたのが、組立てトランク型トイレラップポントレッカーです。水を使わないため上下水道の影響を受けず、さらにコンパクトで場所をとらずに保管することができます。

衛生的で感染予防にも。

「災害備蓄用トイレに第一に求めるものは、衛生面です」、総務部主務 加藤さんは話します。ラップポントレッカーは、特殊フィルムが排泄物を完全密封の袋にしますので悪臭除去と感染予防が同時にできます。「ラップポンの清潔で手入れが簡単ところが気に入りました」(同氏)。

既に災害支援の経験を持つラップポンは今後も被災地を支える努力を続けていきます。



Interview



株式会社長谷工コーポレーション
総務部 総務チーム
チーフ
池谷 達也 様



株式会社長谷工コーポレーション
総務部 総務チーム
主務
加藤 玲子 様